

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成24年2月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成24年1月分(1月2日~2月5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	12,880	22.40	10.70	↑	10	百日咳	7	0.02	0.05	
2	RSウイルス感染症	478	1.33	1.21	↘	11	ヘルパンギーナ	6	0.02	0.02	
3	咽頭結膜熱	145	0.40	0.45	↘	12	流行性耳下腺炎	137	0.38	0.60	↘
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	589	1.64	1.24	↘	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	感染性胃腸炎	3,187	8.85	10.12	→	14	流行性角結膜炎	72	0.76	0.78	↘
6	水痘	557	1.55	1.55	↘	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
7	手足口病	52	0.14	0.19	↓	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
8	伝染性紅斑	117	0.33	0.16	↘	17	マイコプラズマ肺炎	66	0.63	0.22	↘
9	突発性発しん	153	0.43	0.48	→	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成24年1月分(1月1日~1月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	45	1.96	2.12	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	125	5.95	5.60	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.67	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	24	1.14	1.28	↘
21	尖圭コンジローマ	8	0.35	0.46		25	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	—	
22	淋菌感染症	14	0.61	1.27	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	6	0.29	0.10	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ(1,646件→12,880件)
- 急減疾患 手足口病(196件→52件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象8疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~12	13, 14	19~22	15~18, 23~26	
定点数	43	72	19	23	21	178

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	48	結核(48)〔西部保健所(4), 西部東保健所(6), 東部保健所(8), 北部保健所(3), 広島市保健所(19), 呉市保健所(4), 福山市保健所(4)〕
三類	2	細菌性赤痢(1)〔福山市保健所〕, 腸管出血性大腸菌感染症(1)〔西部保健所〕
四類	2	つつが虫病(1)〔広島市保健所〕, レジオネラ症(1)〔広島市保健所〕
五類全数	11	アメーバ赤痢(1)〔東部保健所〕, ウイルス性肝炎(1) B型〔広島市保健所〕, 急性脳炎(2)〔広島市保健所, 福山市保健所〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔西部保健所, 北部保健所〕, 後天性免疫不全症候群(3)〔広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, ジアルジア症(1)〔広島市保健所〕, 麻しん(1)〔東部保健所〕

3 一般情報

(1) インフルエンザの流行状況について

県では、平成24年1月25日に県全域にインフルエンザ警報を発令しましたが、インフルエンザの定点医療機関(115医療機関)からの患者報告数は、平成23年12月の1,646人から平成24年1月は12,880人と急増しました。

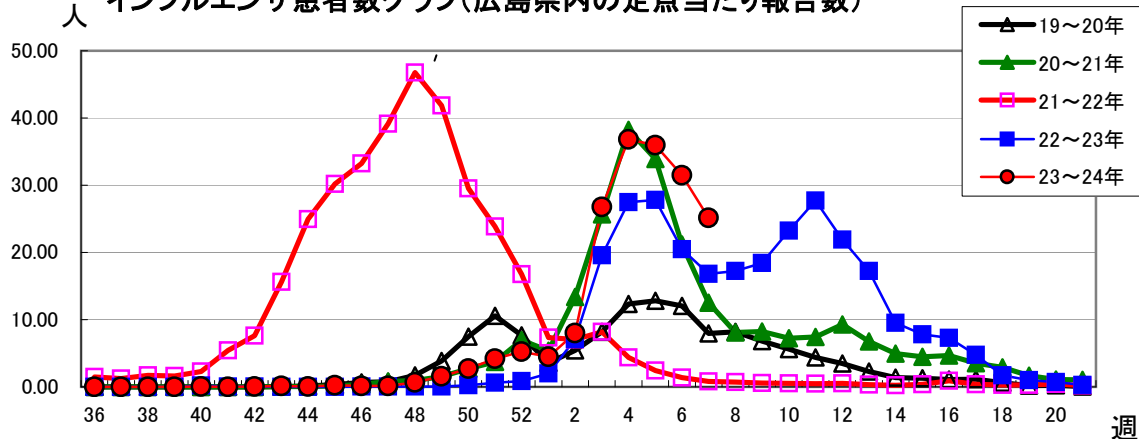
今シーズンのウイルスはA香港型が主流となっていますが、A香港型は、重症化する場合が多いといわれていることから、基礎疾患をお持ちの方や、乳幼児、高齢者の方は、特に早めに医療機関を受診するようにしましょう。

また、昨シーズンのように、A型のウイルスが流行した後にB型のウイルスが流行するという場合も考えられますので、インフルエンザの流行が完全に収まるまで、感染予防及びまん延防止の対策をお願いします。

インフルエンザを予防するための注意点

- ・ 外から帰ったときなど、こまめに“流水と石けんで手洗い”及び“うがい”を励行しましょう。
 - ・ 咳エチケット【咳・くしゃみの際にはハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむける。咳・くしゃみの症状がある場合は、マスクを着用する。】を守りましょう。
 - ・ 睡眠をしっかりとり、偏食せずバランスのとれた食事を心がけ、体力をつけましょう。
 - ・ 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度(50%~60%)を保ちましょう。
 - ・ 人が集まる場所への外出は避け、出掛けるときは、不織布(ふしょくふ)製マスクを着用しましょう。
 - ・ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- 特に基礎疾患(腎臓疾患、心臓疾患、呼吸器疾患等)をお持ちの方や、妊婦、高齢者、乳幼児は合併症を起こしたり、重症化する恐れがありますので注意しましょう。

人 インフルエンザ患者数グラフ(広島県内の定点当たり報告数)



※なお、最新の発生状況等については、次のホームページをご覧ください。

○広島県「インフルエンザの流行状況」 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1258079048226.html>

(2) 子ども予防接種週間について

3月1日(木)~3月7日(水)は子ども予防接種週間です。

4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。

また、現在、中学1年生、高校3年生に相当する年齢で、平成23年4月以降、2回目の麻しん・風しんの予防接種をまだ受けていない方も、是非この機会に受けましょう。

- 予防接種に関する質問は、かかりつけ医にご相談ください。
- 予防接種ができる医療機関については、お住まいの市町の予防接種担当課へお問い合わせください。
- 予防接種を希望される方は、医療機関へ事前に予約しましょう。